

和歌山大学DX推進計画



背景・課題

和歌山が直面する課題

- ・人口減少社会における介護、教育、産業の担い手の育成
- ・東南海トラフ地震、台風等の自然災害との共存
- ・中心地域と周辺部との物理的距離による往来頻度の低下

ポスト・コロナ社会のパラダイムへの対応

- ・Face-to-Faceからonlineへ
- ・デジタルガジェットの活用
- ・地理的、時間的距離の制約からの解放
- ・災害・危機に強いレジリエントな業務体制の構築

ICTを活用した次世代教育

- ・次世代教育体制の構築
- ・地域における高等教育の展開
- ・地域を活性化するグローバル化

DXに関するこれまでの実績

- ・ 学生に対する教育へのICT導入の実施（平成29年度より学生のPC必携化）
- ・ LMSによる学習環境の整備（仮想化サーバーへの集約スイッチの高速化など）
- ・ コロナ禍における遠隔授業の本格的な実施
- ・ VR等を用いた観光や災害体験を通じた学びの提供
- ・ ウズベキスタンの連携大学とICTによる共同講座の開設（令和3年度から実施）
- ・ 事務部門におけるワークフローの導入
- ・ 地域の小中学校におけるICT教育への支援

DX推進計画： WU-DX

- ・ 学長のリーダーシップの下、デジタル化を軸にして、多様なステークホルダーに新しい価値を提供する業務改革としてDXを推進する。
- ・ 全学的に教職協働で実施し、質の高い新しい教育研究及びその支援を実現するとともに、成果を地域へ還元する。

教育

- ▶ ハイブリッド型授業の実施
- ▶ オンラインポートフォリオを活用した学習成果の可視化
- ▶ 仮想現実（VR）を活用した教育の実現
- ▶ ネットワークによる他大学との連携強化

国際

- ▶ オンライン講義と連結した短期履修プログラムの整備・実施
- ▶ オンラインで結ぶ同窓会組織の整備
- ▶ 提携大学とCOIL型授業を共同実施するなど連携を強化

研究

- ▶ ICTによる研究成果の発信
- ▶ オンラインを活用した企業との共同研究の推進
- ▶ ネットワークを活用した国内外の大学との連携強化

業務運営

- ▶ ICTを活用した完全ペーパーレス化
- ▶ AIチャットボット導入による窓口業務の整理
- ▶ RPA（Robotic Process Automation）の導入

リカレント教育

- ▶ オンデマンド/オンラインを活用した社会人教育
- ▶ ネットワークでサテライトを結び、社会人学びの場を提供

その他

- ▶ 小中学校の教員へICT支援
- ▶ オンラインを活用したリアルタイム高大連携